

平成28年度 部局別施策展開方針報告書の見方

平成28年度 企画政策部 施策展開方針 報告書

1. まちづくり政策(企画政策部関係分)

政策 05 部 市 基 盤	政策展開の方向性																											
	市民が暮らしやすく、いつまでも住み続けたいと思えるまちづくりを進めます。駅を中心としたにぎわいのある拠点を創出し、子どもから高齢者、障がいのある方までだれもが安心してのびのびと暮らせる計画的な市街地整備の推進や、安全で快適な道路環境の確保と公共交通の活性化などによる交流実によって、暮らしやすさを実感できるまちに向けた都市基盤の形成を進めます。																											
	平成28年度の実績報告																											
	05-01 市街地整備の推進																											
	<ul style="list-style-type: none"> ・都市計画マスタープランに基づき、「駅を中心とした集約型都市構造」「地域経済の活性化」「災害に強い都市環境」「江別市の特性を活かした魅力ある都市」を都市づくりの目標とし、土地利用や都市施設の整備を進めました。江別の顔づくり事業の進捗などにより、成果指標は上昇しました。 ・高齢者の住み替えを支援し、子育て世代の移住を進めるため、住み替えニーズの把握強化と住み替え先に向けた取組を進めました。平成28年度は大麻地区を活動拠点として、地域おこし協力隊を活用した住み替え相談窓口を大麻出張所に常設したほか、住まいのセミナー開催、活動状況報告や相談窓口利用を呼び掛けるニュースレター発行、ホームページの活用等で情報発信を行いました。 ・駅周辺の安全性、快適性の向上とバリアフリー化の促進のため、平成28年度は野幌駅周辺の交通施設の合わせたバリアフリー化を進めました。成果指標である「市街地整備に満足している市民割合」は増加傾向にあり、継続的な取組が反映されているものと考えられます。 ・誰もが安心して健康的に暮らせるまちづくりの方向性を検討するため、国の構想を踏まえた江別版の「生活」構想の検討を行いました。 																											
	05-02 交通環境の充実																											
	<ul style="list-style-type: none"> ・市内では、路線バス利用者の減少に伴い減便や路線廃止などが発生しています。これを踏まえ、地域の実情に即した持続可能な交通網の形成を推進するため、公共交通事業者や利用者、専門家などに「地域公共交通活性化協議会」を平成28年度に設置(地域公共交通会議を拡充)し、バス路線の再編に向けた調査・計画策定などの取組を進めました。 ・また、路線バスの利用促進を図るため、広報への記事の掲載やバスマップの配布を行いました。 																											
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>政策の成果指標</th> <th>単位</th> <th>(初期値)</th> <th>H26年度</th> <th>H27年度</th> <th>H28年度</th> <th>目標</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>市街地整備に満足している市民割合(顔づくり、公園、バリアフリー化、上下水道等)</td> <td>%</td> <td>76.7</td> <td>77.1</td> <td>77.6</td> <td>79.1</td> <td>↑</td> </tr> <tr> <td>交通環境に満足している市民割合(道路環境、除排雪事業、公共交通)</td> <td>%</td> <td>57.9</td> <td>60.8</td> <td>64.2</td> <td>65.9</td> <td>↑</td> </tr> </tbody> </table>							政策の成果指標	単位	(初期値)	H26年度	H27年度	H28年度	目標	市街地整備に満足している市民割合(顔づくり、公園、バリアフリー化、上下水道等)	%	76.7	77.1	77.6	79.1	↑	交通環境に満足している市民割合(道路環境、除排雪事業、公共交通)	%	57.9	60.8	64.2	65.9	↑
	政策の成果指標	単位	(初期値)	H26年度	H27年度	H28年度	目標																					
	市街地整備に満足している市民割合(顔づくり、公園、バリアフリー化、上下水道等)	%	76.7	77.1	77.6	79.1	↑																					
交通環境に満足している市民割合(道路環境、除排雪事業、公共交通)	%	57.9	60.8	64.2	65.9	↑																						
企画政策部が所管する個別計画または重点事業の進捗状況																												
<table border="1"> <tbody> <tr> <td>「大麻地区住環境活性化事業」 住まい相談件数</td> <td>件</td> <td>3</td> <td>7</td> <td>5</td> <td>15</td> <td>↑</td> </tr> <tr> <td>「公共交通利用促進対策事業」 バス輸送人員</td> <td>千人</td> <td>548</td> <td>523</td> <td>554</td> <td>610</td> <td>→</td> </tr> </tbody> </table>							「大麻地区住環境活性化事業」 住まい相談件数	件	3	7	5	15	↑	「公共交通利用促進対策事業」 バス輸送人員	千人	548	523	554	610	→								
「大麻地区住環境活性化事業」 住まい相談件数	件	3	7	5	15	↑																						
「公共交通利用促進対策事業」 バス輸送人員	千人	548	523	554	610	→																						

○まちづくり政策
「えべつ未来づくりビジョン(第6次江別市総合計画)」の【まちづくり政策】について、部毎の展開方針を記載しています。

○政策展開の方向性
「えべつ未来づくりビジョン(第6次江別市総合計画)」に記載の内容を転記しています。

○展開方針
平成28年度の各部の取組状況報告について、当該部が関係している「取組の基本方針」毎に記載しています。

○初期値ほか
初期値は平成25年度の実績値または見込値などを記載しています。26年度以降の欄は、実績値を記載していきます。

○個別計画・重点事業
各部において策定している個別計画や、主要な事務事業について、政策毎に記載しています。

○えべつ未来戦略
各部における「えべつ未来戦略」の関連事業を記載しています。

○戦略1~4に関して
平成28年度にその部局が関連事業を実施した場合に、該当する戦略プロジェクト名、事業名、担当課等の名称を記載します。(関連事業が無い場合は空欄)

2. えべつ未来戦略(企画政策部関係分)

戦略	■戦略プロジェクト「関連事業」(担当課)
戦略1 ともにつくる協働のまちづくり	<ul style="list-style-type: none"> ■1B 大学が活躍するまちづくり 「大学版出版講座支援事業」(企画課) 「大学連携調査研究助成事業」(企画課) 「大学連携学生地域活動支援事業」(企画課) 「学生地域定着自治体連携事業」(企画課)
戦略2 えべつの将来を創る産業活性化	
戦略3 次世代に向けた住みよいえべつづくり	<ul style="list-style-type: none"> ■3B 駅を中心とした暮らしやすいまちづくり(えべつ版コンパクトなまちづくり) 「公共交通利用促進対策事業」(政策推進課) 「大麻地区住環境活性化事業」(政策推進課)
戦略4 えべつの魅力発信シティプロモート	<ul style="list-style-type: none"> ■4A ニーズにあわせた効果的な情報発信 「ウェルカム江別事業」(広報広聴課) 「えべつシティプロモーション事業」(政策推進課)

3. 企画政策部の資源

		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
歳出決算額(千円)	一般会計(A)	573,222	158,576	97,560		
	特別会計(B)	0	0	0		
	合計(A+B)	573,222	158,576	97,560		
正職員人件費(千円)	人工(a)	28	30	30		
	平均単価(b)	7,853	7,764	7,670		
	人件費(a×b)	219,884	232,920	230,100		
総額		793,106	391,496	327,660		

○各部の資源
各部の資源として、予算規模及び職員人件費の推移を記載しています。

○政策部毎に係る【まちづくり政策】について01~09の順に記載しています。

○政策の成果指標
政策の進み具合を表しています。

上段
個別計画や事業の名称
下段
進捗状況を測る指標名